

長期保管要領書

【対象機器】

シールセルポンプ SM series

ラバーセルポンプ SM-RZ series

スルーセルポンプ SMO series

クローバーポンプ CO series



本社工場

〒511-0251 三重県員弁郡東員町大字山田新蔵原3617

TEL 0594-76-1100 FAX 0594-76-1101

<https://www.mitsuwapump.jp/>

はじめに

この度は、当社ポンプをご採用頂きまして、誠にありがとうございます。

この長期保管要領書は、長期間（3カ月間以上）に渡ってポンプを休止する場合の要領書となります。なお、より良い製品をお届けするため、常に改良を心がけています。このため長期保管要領書と多少異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

1、 付属品・突起物

ポンプ廻りの圧力計、連成計、その他突起物で長期保管中に破損の恐れがある場合は、それらを取り外して、取付部分をプラグ等で保護してください。取り外した付属品は機器名称を明示し、再度使用する際に間違わないようにしてください。

2、 ボルト・ナット類

ポンプに取り付けてあるボルトまたは取り外したボルト、ナット類は錆を落とし、防錆油を塗布しておいてください。

3、 塗装

使用中に塗装のはがれている箇所があれば、補修塗料等で錆が発生しないようにご注意ください。

4、 ゴム部品・ゴムライニング部品

ゴム部品およびゴムライニング部品は、一般特性としてオゾン、直射日光および高温に弱く、荷重を加えると劣化しやすくなります。よって、ゴム部品やゴムライニング部品等は、直射日光があたらないようにして、通気性の良好な冷暗所に保管してください。

5、 駆動部品

Vベルト駆動タイプの場合は、Vベルトを取り外し、荷重のかからない状態で保管してください。

取り外したVベルトは、機器名称等を明示し、再度使用する際に間違わないようにしてください。

ポンプを停止した状態では、Vベルトおよびポンプ・電動機のベアリングに荷重がかかり、再度使用する場合に、Vベルトの早期破断、ベアリングの早期故障または異常振動や異常音といった不具合が発生する場合があります。

また、Vプーリーの溝に錆が生じないように防錆剤を塗布してください。再使用する際は防錆剤をきれいにふき取ってからVベルトを取り付けてください。

6、 ベアリング

ベアリングはポンプにとって重要な部分になりますので、ベアリング内に雨水・雪などがはまらないようにご注意ください。また、1～2カ月に一度、手回しで10～20回転程度シャフトを回転させてください。また、必要に応じてベアリングやシャフトに防錆剤を塗布してください。

7、 メカニカルシール

標準仕様の場合、メカニカルシール室（メカ室）にオイルが封入されています。

メカ室内のオイルは抜き取ってください。抜き取ったオイルは容器に入れ、直射日光があたらないようにして、通気性の良好な冷暗所に保管してください。オイルの汚れや劣化がみられる場合は、廃棄して、ポンプを再使用する際に備えて新しいオイルを用意してください。

再度使用する場合は、必ずオイルを封入してから運転してください。オイルが入っていない状態でポンプを運転するとインチング（寸動運転）であってもメカニカルシールが焼き付いてしまいます。

※ メカニカルシールは停止中であってもオイルが滲み出ることがあります。特にゴムライニングポンプの場合、滲み出たオイルによってゴムが膨潤してしまう可能性がありますので、ご注意ください。

特殊仕様（外部注水型）の場合、メカ室内の注水液を完全に抜き取り、注排水バルブを全閉としてしてください。冬期には注排水配管内の液体が凍結しないように注意してください。

8、 ポンプ内液体

ポンプ内の移送液を完全に抜くとともに、配管からポンプ内に液体が流入することがないようにご注意ください。また、移送液が凝固・固着しやすいまたは腐食しやすい液体の場合はポンプ内を水洗してからポンプ内の液体を抜いてください。冬期の凍結による破損や、摺動部の錆付きが生じないようにご注意ください。

9、 電源

長期間（3か月間以上）ポンプを休止する場合は、電源を遮断してください。絶縁劣化し、感電や漏電・火災の原因になる恐れがあります。

10、 再使用

休止後の運転開始時には、メカ室のオイルを封入し（外部注水の場合は注水液を満たし）、手回しで10～20回転程度シャフトを回転させ、引っ掛かり等の異常がないことを確認してください。

異常があれば、ポンプを分解して原因を除去してください。これらを確認の後、取扱説明書の手順に従って試運転を開始してください。